

この添付文書をよく読んでから使用して下さい

承認番号 16200AMZ00379000

* 2016年3月改訂(第2版)

2007年11月作成(第1版)

Code E 439-44091

E 433-44094

体外診断用医薬品

クラスⅡ汎用・生化学検査用シリーズ
カルシウムキット自動分析装置用試薬-HRⅡ
カルシウム-HRⅡ

(OCPC法)

〔全般的な注意〕

- (1) 本製品は体外診断用であり、それ以外の目的に使用しないで下さい。
- (2) この添付文書に記載された使用方法に従って使用して下さい。記載された使用方法および使用目的以外での使用については、測定値の信頼性を保証しかねます。
- (3) 測定機器は取扱説明書に従い適切な条件下で使用して下さい。なお、詳細については機器メーカーに問い合わせて下さい。
- (4) 測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果と併せて担当医師が総合的に判断して下さい。

〔形状・構造等(キットの構成)〕

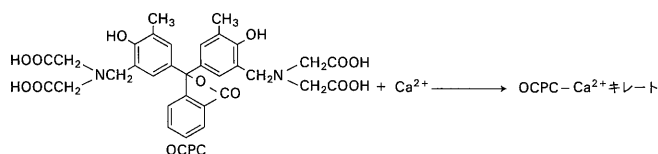
- (1) 緩衝液
(モノエタノールアミン緩衝液)
- (2) 発色試液
(フタレインコンプレキソン(OCPC))
(8-キノリノール)

〔使用目的〕

血清中又は尿中Caの測定

〔測定原理〕

試料中のカルシウムは、アルカリ性条件下でOCPCと結合して紫紅色を呈します。この紫紅色の吸光度を測定することにより試料中のカルシウム濃度を求めます。



〔操作上の注意〕

- (1) 測定試料の性質、採取法
(イ) 採取後の検体は速やかに測定して下さい。
- (2) 妨害物質・妨害薬剤
(イ) クエン酸塩、シュウ酸塩、EDTAは負誤差を与えますので使用しないで下さい。
(ロ) 比較的多量のカルシウムを含む水道水や、多量の鉄、銅による汚染は測定誤差の大きな原因となり正誤差を与えます。
(ハ) 溶血はわずかに正誤差を与えます。
(ニ) アスコルビン酸、ビリルビンは測定値にほとんど影響を与えません。
- (3) その他
(イ) 検量用試料のサンプルカップは塩酸洗浄したものを使用して下さい。

〔用法・用量(操作方法)〕

- (1) 試薬の調製方法
緩衝液：そのまま使用して下さい。
開封後の取扱いについては〈使用上の注意〉を参照して下さい。
発色試液：そのまま使用して下さい。
- * (2) 必要な器具・器材・試料等
自動分析装置：適用可能な機種については別途お問い合わせ下さい。
検量用試料：マルチキャリブレーターA(別売品)又は血清マルチキャリブレーター(別売品)
使用に際しては、マルチキャリブレーターA、血清マルチキャリブレーターの現品説明書を参照して下さい。

- * (3) 測定法
〈標準操作法〉



〈カルシウム濃度の求め方〉

検量用試料の吸光度より作成した検量線より求めます。

〈各種自動分析装置への適用〉

各自動分析装置の取扱い方法に従ってパラメーターを入力し、測定して下さい。パラメーター表は別途請求して下さい。

〔測定結果の判定法〕

参考正常値⁽²⁾ 血清 8.4~10.2 mg/dL
(4.2~5.1 mEq/L)

〔性能〕

〈性能〉

- (1) 感度
(イ) 精製水を試料として操作した場合の吸光度は、0.510以下です。
(ロ) 特定濃度の標準液(カルシウム 10 mg/dL)を試料として操作した場合の吸光度は、0.230~0.970の範囲内です。
- (2) 正確性
既知濃度の管理用血清及び尿を測定するとき、既知濃度の±5%以内にあります。
- (3) 同時再現性
同一検体を5回以上同時に測定するとき、吸光度のCV値は2.0%以下です。
- (4) 測定範囲
カルシウム 0.17~21 mg/dL です。(標準操作法による)

〈相関性試験成績〉

検体	血清	尿
相関係数	$r = 0.979 (n = 50)$	$r = 0.999 (n = 55)$
回帰式	$y = 0.98x - 0.23$	$y = 1.051x + 0.15$
y	本品(mg/dL)	本品(mg/dL)
x	自動分析装置用試薬-HR カルシウム-HR (OCPC法, mg/dL)	A社製品 (OCPC法, mg/dL)

〈較正用の基準物質(標準物質)〉

化学物質評価研究機構(CERI) カルシウム標準液(JCSS, Ca: 1000 mg/L)

〔使用上又は取扱い上の注意〕

〈取扱い上(危険防止)の注意〉

- (1) 試薬が誤って口や目に入ったり、皮膚に付着した場合には、直ちに大量の水で洗い流し、必要があれば医師の手当等を受けて下さい。
緩衝液はpH 11.0のアルカリ性溶液です。

〈使用上の注意〉

- (1) 試薬は指定された条件で保管し、使用期限を過ぎたものは使用しないで下さい。
- (2) 誤って凍結させた試薬は使用しないで下さい。正しい結果が得られないことがあります。
- (3) 試薬の開封後はなるべく早く使用し、保存する場合は蓋を開けて指定の条件で保存して下さい。
- (4) 本品中の容器、付属品は他の目的に転用しないで下さい。
- (5) 緩衝液は、開栓したまま長期間放置しますと空気中の炭酸ガスを吸収してpHが低下し測定値が変わることがありますので、使用後は必ず密栓して下さい。
- (6) mg/dLおよびmEq/Lの換算
カルシウム(Ca²⁺)の原子量は40.1ですので、カルシウム 1 mg/dL = 0.50 mEq/Lとなります。

〈廃棄上の注意〉

- (1) 廃棄に際しては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)及び排水基準に従って適切に処理して下さい。
緩衝液中にホウ酸(ホウ素として 349.7 mg/L)を含有しています。
発色試液中にフェノール類の8-キノリノールを1.6 g/L、OCPCを64 mg/L含有しています。
- (2) 検体と接触した試薬及び試薬容器等は、感染の危険性があるものとして処理して下さい。

〔貯蔵方法・有効期間〕

	(貯 法)	(有効期間)
自動分析装置用試薬-HRⅡ		
カルシウム-HRⅡ		
緩衝液	25℃以下保存	製造後 2 年 4 か月間
発色試液	2～10℃保存	製造後 2 年 4 か月間

〔包装単位〕

(コード番号)	(品 名)	(識別記号)	(包 装)
	自動分析装置用試薬-HRⅡ		
	カルシウム-HRⅡ		
433-43994	緩衝液		60 mL×4
439-43991	〃		300 mL×4
433-44094	発色試液		60 mL×4
439-44091	〃		300 mL×4

〔主要文献〕

- (1) Gitelman, H.J. : Anal. Biochem., **18**, 521-531 (1967).
 (2) 金井 泉, 金井正光 : 「臨床検査法提要」 第29版, 477-484 (金原出版) (1983).

〔問い合わせ先〕

富士フイルム 和光純薬株式会社
 臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目 4 番 1 号
 Tel : 03-3270-9134 (ダイヤルイン)

*〔別 売〕

(コード番号)	(品 名)	(包 装)
413-41591	マルチキャブレーター A (カルシウム 10 mg/dL)	5 mL×4
468-61701	血清マルチキャリブレーター (表示値はロットごとに異なり 現品説明書に記載しています。)	2 mL×6

製造販売元

富士フイルム 和光純薬株式会社
 大阪市中央区道修町三丁目 1 番 2 号

Wako

18.02.01K07